

経営比較分析表（令和2年度決算）

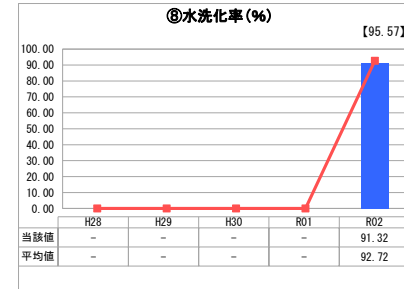
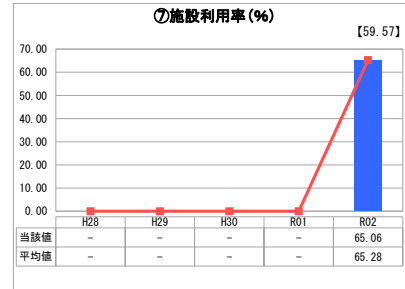
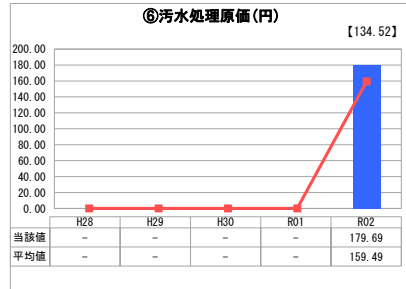
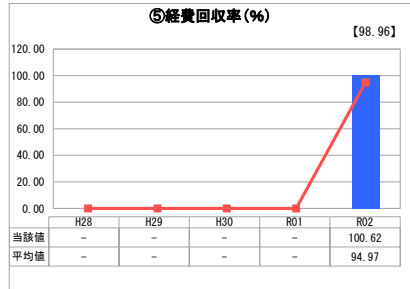
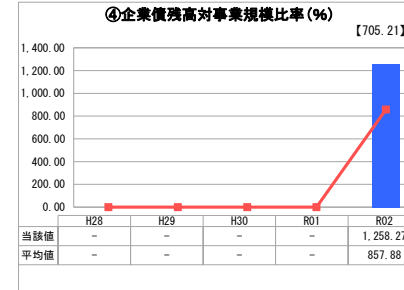
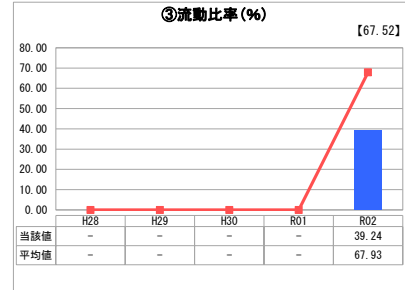
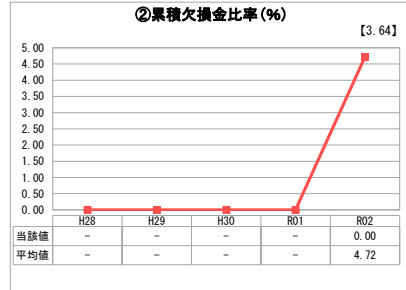
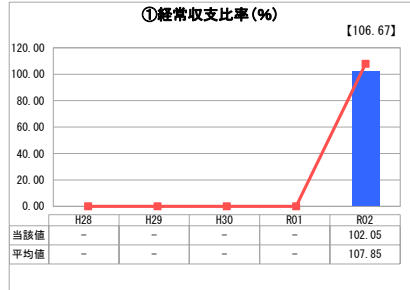
山形県 寒河江市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	64.41	74.26	86.68	3,685

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
40,719	139.03	292.88
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
30,130	10.04	3,001.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度から公営企業会計に移行したため、比較可能な前年度以前の数値はない。

①経常収支比率 100%を超えているため単年度の収支は黒字であるが類似団体平均値を下回っているため、料金収入のさらなる増加に向けた普及促進や経費削減等の取組みが必要である。

②累積欠損金比率 累積欠損金はない。
③流動比率、④企業債残高対事業規模比率 流動比率は100%を大きく下回り、企業債残高対事業規模比率は類似団体平均値を上回っている。多額の企業債借入および償還が主な原因であるが、整備事業の串ばしであり引き続き企業債借入は必要であるため、整備計画との兼ね合いを考慮しつつ、償還額を超えない額の借入を検討していく。

⑤経費回収率 100%を超えているため使用料で回収すべき経費を全て賄えている状況である。類似団体平均値も上回っており問題は生じていないが、次年度以降も100%以上の数値になるよう料金収入の増加や経費削減等に努める。

⑥汚水処理原価 類似団体平均値より高くなっている。今後も中央工業団地等の稼働により取水量の増加が見込まれるため改善に向かっていくものと思われるが、同時に維持管理費削減、不明水の削減の取り組みも進め、より一層の改善を目指していく。

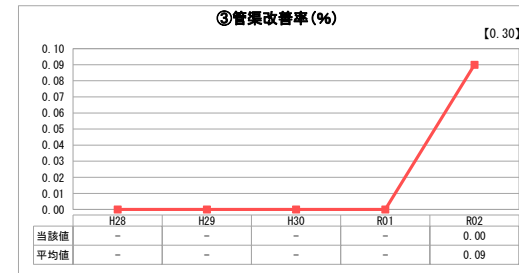
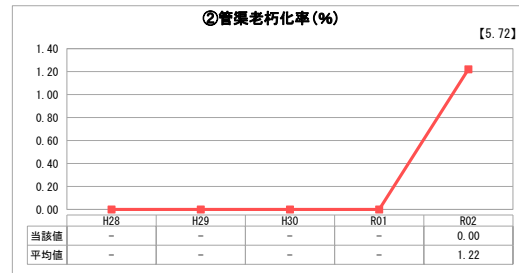
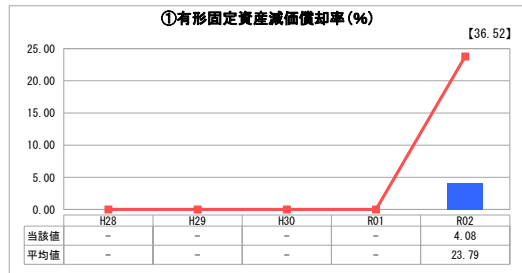
⑦施設利用率 類似団体平均値と大きな差異はない。将来的には過大なスペックになる可能性を考慮することから、施設更新においてはダウンサイジングの検討が必要である。

⑧水洗化率 類似団体平均値を下回っていることから普及促進活動の強化が急務となっており、戸別訪問等を定期的に行い水洗化率の向上を図る。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率 類似団体平均値を下回っている。今後、基礎調査を行い、20年以上経過する管渠に対してストックマネジメント計画を策定し、必要性の高い箇所から計画的な更新を行っていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

大規模施設の接続等による料金収入の増加が見込まれるが、節水意識の高まりや人口減少等により減少に生じる要因もあり大幅な増加は見込めない。一方では施設や管渠の老朽化に伴う維持管理費や更新費の増加が見込まれるため経営環境の悪化が懸念される。

今後の安定的なサービス提供のためには経費削減の徹底や料金収入の確保が重要であることから、より一層経営改善に取り組み、健全経営を目指していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。